

## 各部署のシンボルとの組み合わせ

各部署が独自のシンボルを使用する場合は、九州大学のシンボルは用いず、ロゴタイプのみを表記し、その下のレベルに部署シンボルと部署名などを併記します。この場合、九州大学のシンボルロゴは常に左右方向のタイプのものを用います。(→P18, 19)

基本的なルールは、部署シンボルは部署名の隣に、九州大学のシンボルは大学のロゴタイプの横にというように、シンボルとそれを示す文字を近くに置くことです。

部署の名称や住所などの文字は、原則として小塚ゴシック、ヒラギノゴシック、MSゴシックなどの代表的なゴシック体から選び、部署のシンボルと組み合わせます。

## 縦表記の場合の事例

独自のシンボルを使用しない部署



# 九州大学

大学院人文科学研究院  
大学院人文科学府  
文学部

独自のシンボルを使用する部署

# 九州大学



大学院芸術工学研究院  
大学院芸術工学府  
芸術工学部

利便性のために、各部署のシンボルと部署名を組み合わせたデータを提供していますので、データをそのままご使用いただければ、ルールに沿った配置ができます。データについてのお問い合わせは九州大学広報室まで。

### 横表記の場合の事例

独自のシンボルを使用しない部局



独自のシンボルを使用する部局



### 小サイズ用シンボル

シンボルの直径が 10mm 以下の場合、シンボルのディテールがつぶれて見づらくなってしまうため、小サイズ用シンボルロゴ（小）を使います。

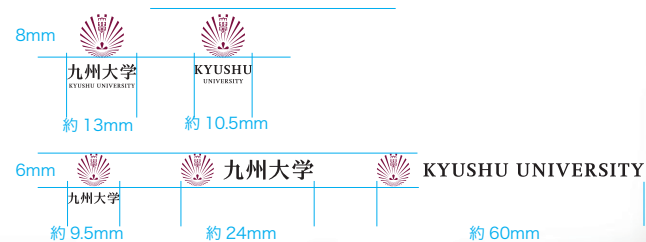
標準シンボル



小サイズ用シンボル



また、視認性を保つため、下のサイズより大きく使います。



小サイズ用シンボルは、可読性を保つためシンボルに組み込まれた「大学」の文字を細くデザインしています。

最小サイズについては標準的な印刷を想定していますので、DTPプリンタやWebページなど解像度の低い環境では可視性、可読性をケースバイケースで考えます。